

えんげ 【嚥下外来とは】

摂食・嚥下とは、

- ①食べ物を認識して口に取り込み
- ②口の中で食べ物を飲み込みやすい形にして
- ③口からのどへ
- ④のどから食道へ
- ⑤食道から胃へ送り込む一連の流れをいいます。

この流れのいずれかが障害され、食べ物をスムーズに飲み込めなくなることを「嚥下障害」といいます。

“嚥下障害を生じると、楽しいはずの食事が苦痛なものに変わってしまいます”

“障害が重度になると食事ができなくなったり、肺炎を引き起こしたりすることもあります”

複数の職種が飲み込みの過程や状態を多角的に評価し、必要に応じて「VF 検査（嚥下造影検査）」を行い、評価に基づいた誤嚥（※）のない安全な飲み込み方などを助言・指導させて頂くことを目的とした外来が“嚥下外来”です。

（※）誤嚥：食物などがなんらかの理由で、誤って喉頭と気管に入ってしまう状態

【対象者は】

当院の嚥下外来では、“嚥下障害の方（可能性のある方）”すべてを対象に評価・検査を行っていきます。

嚥下障害でよく見られる症状には、次のようなものがあります。

- 食べるのが遅くなった
 - やせてきた
 - 食べこぼす
 - 口の中に食べ物が残る
 - のどの奥に食べ物が残る
 - 食事中にむせる
 - 痰が多い
 - のどがゴロゴロ鳴る
 - 風邪以外で熱が出ることもある
 - 食べ物がつかえる
 - 飲み込みにくい
 - 食べ物や胃液が逆流する
 - 咳が出る
- など



◎症状がある方には、医師の診察、言語聴覚士による初期評価、必要があればVF検査を行いますのでお気軽にご相談下さい

【予約・診察の流れ】

◎外来受付にて予約を取らせて頂きます

◎診察日は 月・水・木・金 のいずれか、午前中

- ・医師診察のみの場合は 1 日で終了。
- ・医師診察後、必要に応じて「嚥下能力検査」や「栄養指導」を予約。後日、来院。
- ・嚥下能力検査の評価により、さらに検査が必要な場合は VF 検査を予約。後日、来院。

【言語聴覚士による初期評価とは】

普段の食事の様子などをうかがい、口やのどの動きを評価します。

【VF 検査（^{えんげぞうえい}嚥下造影検査）とは】

バリウムなどの造影剤を含んだ模擬食品を X 線透視下に嚥下し、誤嚥があるかどうかのチェックや、嚥下運動や適切な食形態を評価・診断する検査です。



(正 常)



こ えん
(誤 嚥)

【お問い合わせ】

嚥下についてお悩みの方は、先ず当院の外来受付へご相談下さい。
その際は「嚥下外来について聞きたい」とお申し出下さい。

尾張温泉かにえ病院 ☎0567-96-2000（代表）